

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ワークショップ4	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	各回 必要に応じてレジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	佐藤正樹		実務経験の有無・職種	有・ディレクター	
学習目的					
この科目を受講する学生は、音楽番組や音楽映像作品、そしてバラエティー番組のディレクターでもある講師の実体験に基づく演出の話を中心に、様々な映像表現方法とその発想について考察する。また、これまで講師が制作に携わった作品を中心に、それらの成立事情、時代背景、演出の特徴等を、制作的側面はもちろん、美術・照明・カメラ・音声から編集に至るまでを多角的に解説を受けることにより、受講者の世界観を広げ、映像を多面的にみる力や想像力を養うことを目的とする。					
到達目標					
TV、パソコン、携帯には映像があふれ、映像コンテンツは様々な媒体によって放送・配信されている。この科目では、学生それぞれが、制作・美術・照明・カメラ・音声・編集と専攻は異なれど、映像クリエイティブ業界で活躍する人材となる為に、それぞれの「媒体」で、どのような「作品」を視聴者に届けるのか、その映像表現が創造できるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、映像作品の仕上がるまでの過程や考え方を論じる。実際の映像を鑑賞し、作品制作の現場で使用した企画書や台本等の紙資料を見ながら解説をする場合もある。受講生が、これらの作品と解説をどのように受けとめ、理解しているかを意識しながら、授業を進める。この授業に1年間参加する学生が、様々な映像表現方法の知識を得て、創造力を養い、自ら発信できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、理由のない遅刻や欠席・早退は認めない.授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業で使用する紙資料は、その授業内で配布するが、全てその授業内で返却すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	音楽映像制作における照明①		音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する①		
2回	音楽映像制作における照明②		音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する②		
3回	音楽映像制作における照明③		音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する③		
4回	音楽映像制作における撮影方法①		音楽映像における撮影方法やカメラワークの意味を知る		
5回	音楽映像制作における撮影方法②		撮影方法やカメラワークがどのように映像に反映されているか理解する		
6回	音楽映像制作における撮影方法③		特殊撮影の効果とカメラワークを知る		
7回	音楽映像制作における撮影方法④		ワークショップ形式で理解する		
8回	音楽映像制作における編集①		音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ①		
9回	音楽映像制作における編集②		音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ②		
10回	音楽映像制作における編集③		音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ③		
11回	音楽映像制作におけるMA①		音楽映像作品の様々なMA方法について学ぶ①		
12回	音楽映像制作におけるMA②		音楽映像作品の様々なMA方法について学ぶ②		
13回	新しい番組の制作について①		番組の企画書、台本等から制作者の意図を汲み取り、どの様に映像に反映されているか理解する①		
14回	新しい番組の制作について②		番組の企画書、台本等から制作者の意図を汲み取り、どの様に映像に反映されているか理解する②		
15回	まとめ・復習		総括する		